

憲法を生かし 核兵器も基地もない 社会を子どもたちに

憲法・平和・核兵器廃絶
メールニュース第24号
2012年6月13日(水)
全教・国民共同局

授業日の学校で自衛隊が訓練?! (6/11 高知)

6月11日、午後1時前、「陸上自衛隊東南海・南海地震対処訓練」の一つとして、高知商業高校グラウンドに自衛隊のヘリコプターが着陸しました。以下、「ブログ高知高教組日誌」からの転載です。



事前にホースで散水が行われていましたが、写真のように、砂埃と大きな音が響きました。訓練を知らされていた地域の住民約30名ほどが、見学のためグラウンド端のベンチに座っていました。

高教組や県教組、子どもと教育を守る高知県連絡会などは、正門前で「授業日の学校での自衛隊による訓練は許せません」の横断幕を掲げるとともに、見学の方や通行人にチラシを配布し、訓練に反対しました。



子どもと教育を守る高知県連絡会・高知県教組・高知高教組などは、訓練中止を求め、要請を続けてきました。当日も、自衛隊、高知県、高知市教委に抗議を行いました。文面は、以下の通りです。

子どもの安全を最優先とする対応を!

～授業日の学校での自衛隊訓練は許されない～

本日、私たちの中止の申し入れにもかかわらず、高知県と自衛隊は、生徒が登校して学んでいる高知商業高校で、「震災訓練」の一つとしてヘリコプターの離発着訓練を強行しました。私たちは、以下の理由でこのことに強く抗議します。

東日本大震災からの例からも、いついかなる時に災害が起こるかは分からず、常にその準備をしておくことは必要です。しかし、だからといって、多くの子どもたちがいる学校で、子どもたちとは無関係の訓練を行う必要はありません。低空飛行の騒音による日常の学校生活への

支障はもとより、ヘリコプターの墜落の危険性など、想定外を想定することは東日本大震災での大きな教訓です。

本日の訓練は、子どもたちのいる日中の時間帯にわざわざ行う必要はまったくありません。また、この訓練が昼休み中であつたとしても、子どもたちが学校にいる以上、その安全を最優先にするのが行政の責務です。公立学校施設は、子どもたちの教育を行うという目的を持つものであり、法令によって目的外使用は制限されています。その中で、今回の訓練を許可した高知市教委や、自衛隊との調整役である高知県の「高知市教委が許可をしたから」と回答する主体性のない行政姿勢では、子どもたちの安全は守れません。また、日頃は授業最優先で、学校の目的外使用に厳しく対応している行政姿勢からも、今回の対応に疑問が残ります。

私たちは、このような形で訓練が二度と行われることがないように、また、子どもたちの安全を最優先とする行政姿勢に改めるよう、自衛隊と高知県、高知市教委に強く求めます

6・23(土) 怒りの国民大集会

場所・明治公園